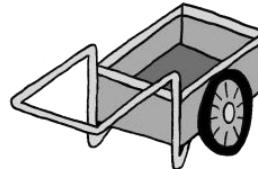


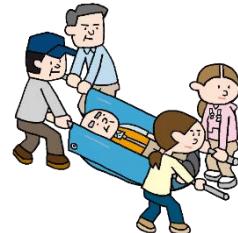
# 防災備品の使い方

新町自主防災会

1 リヤカー（一ツ木公園防災倉庫収納）



2 担架



3 車椅子



4 バールとジャッキ



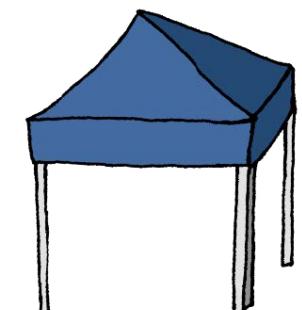
5 簡易トイレ



6 発電機



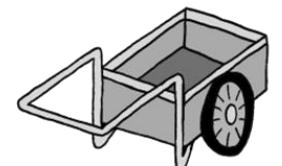
7 テント



# リヤカー (一ツ木公園防災倉庫収納)

ケガ人を救出、搬送する

メガホンは救助隊の隊長が持つ



# ① リヤカーを組み立てる

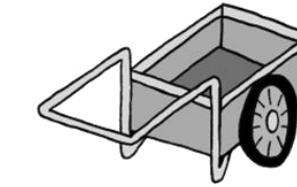
- 1 リヤカーラー大、リヤカーラー小を防災倉庫から出す
- 2 リヤカーを組み立てる



最初の状態



2人でリヤカーを広げる



リヤカーの取手をつなぐ



荷台の前・後を組み立てる

## ② 救助時に使用する器材を防災倉庫から運びだし、リヤカー大、小に分けてのせる

### リヤカー大：器材に**黄色**のテープ



リヤカー大に器材をのせる

### リヤカー小：器材に**赤色**のテープ



リヤカー小に器材をのせる(発電機等は荷台に固定)

- ・発電機
- ・投光器
- ・コードリール
- ・ジャッキ



【訓練時】③新町自主防災の旗をリヤカー大、リヤカ一小にそれぞれ2旗取り付ける  
(写真はリヤカ一小の場合)



旗用ポールを差し込む棒(2本)  
をリヤカーの後側に固定する

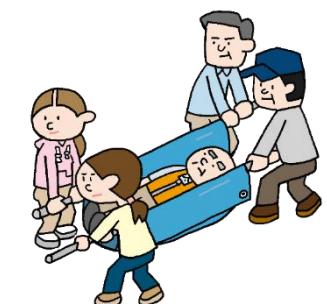
旗用ポールの中から旗布を  
取り付ける部品を取り出す

旗布をその部品に取り付ける

リヤカーに旗用ポール  
を立てる

# 担架

注意点 裏側バー金具は足で固定(手では危ないため)



# 担架の種類

白色のシングルの担架

一ツ木公園、朝暮公園、浜場公園



カラ一の2つ折れの担架

狩野公園(青)、あさぶ公園(橙)



けが人を固定するベルトあり

# ① 担架を組み立てる



二人で担架を広げる



担架を裏側にする



裏側バーを伸ばしシートを張る

裏バーの金具が固いので手を挟まないこと、足で行うと良い



- ② のせる前に声をかけてケガ人の状態を確認する  
③ 担架にケガ人をのせる



3人で持ち上げ体制をつくり、  
ケガ人に手を入れ膝の上に  
乗せて持ち上げる



他の1人が担架を用意  
3人でケガ人を担架にのせる



ケガ人の頭を持ち上げ枕(毛布)を  
入れる

#### ④ 担架を持ち上げケガ人を運ぶ



足側を進行方向にして、4人で担架を持ち上げる



ケガ人を運ぶ  
担ぎ手は外側の足から同時に踏み出す

運ぶ人は4人以上  
60キロの人を運ぶとなると  
1人あたり15キロ 重いよ

前の方は前方を注意して見て、  
後ろの方はケガ人の顔を見る



揺れを少なくするため  
足の運びは外側、内側で  
4人揃って行う

# 車椅子

注意点 広げるときにはシートの横を持たない(手が挟まる恐れあり)



# ① 車椅子の広げ方

平坦な場所で駐車ブレーキをかける



駐車ブレーキ



車椅子の前方又は後方に立ち、  
左右のアームサポートを持って  
両側に広げる

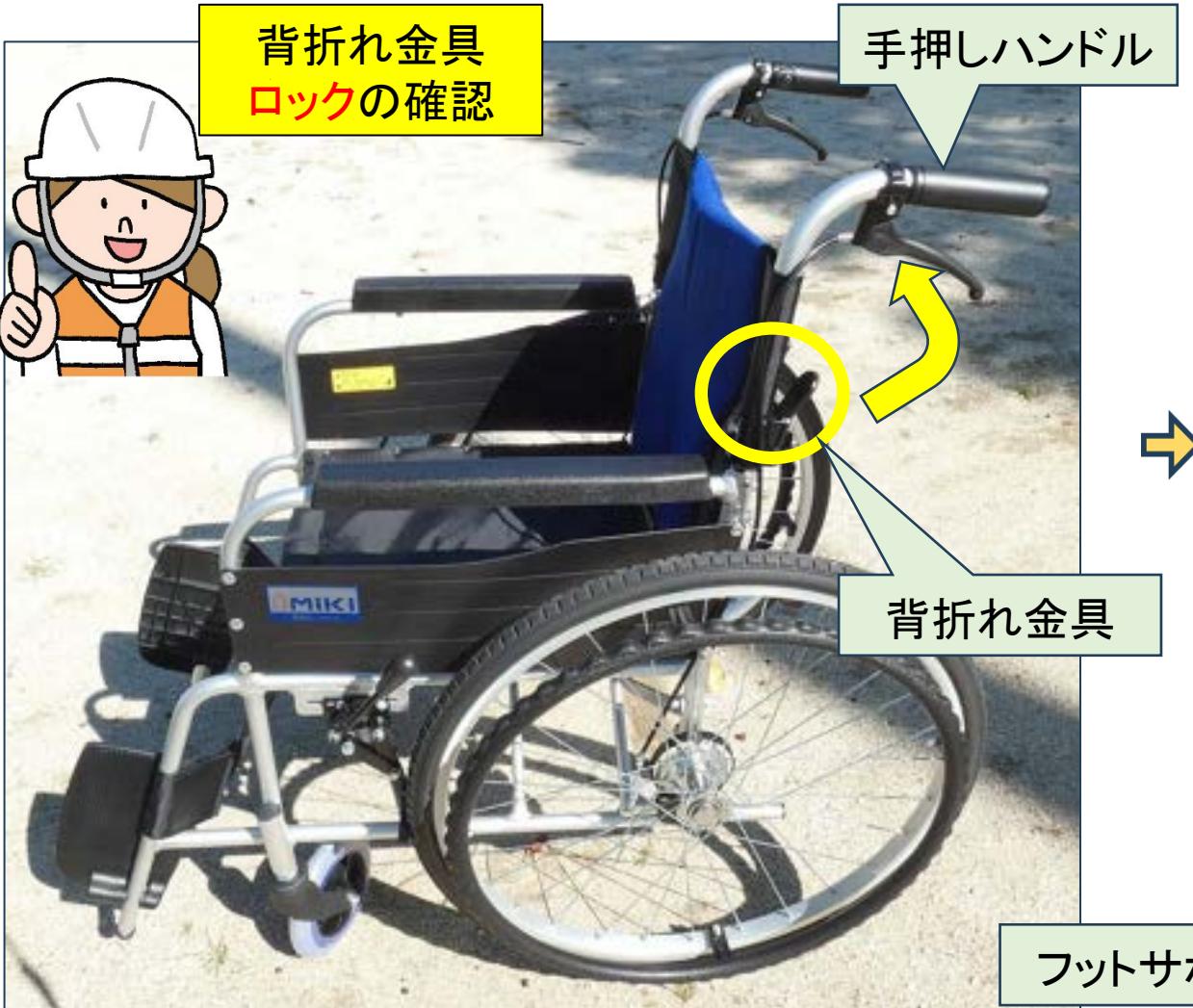
シートを手で上から下に押し下げ、  
しっかりと座面をひろげる



横を持ちひろげないでください  
シートのパイプに手を挟む恐れ  
があります



手押しハンドルを持ち、上方へ持ち上げる  
背折れ金具が完全にロックされている事を確認する



乗車  
駐車ブレーキがきちんとかかっていることを確認し、  
ゆっくりと腰かける  
車椅子の乗車後フットサポートを下ろし足を乗せる



## ② 車椅子のたたみ方

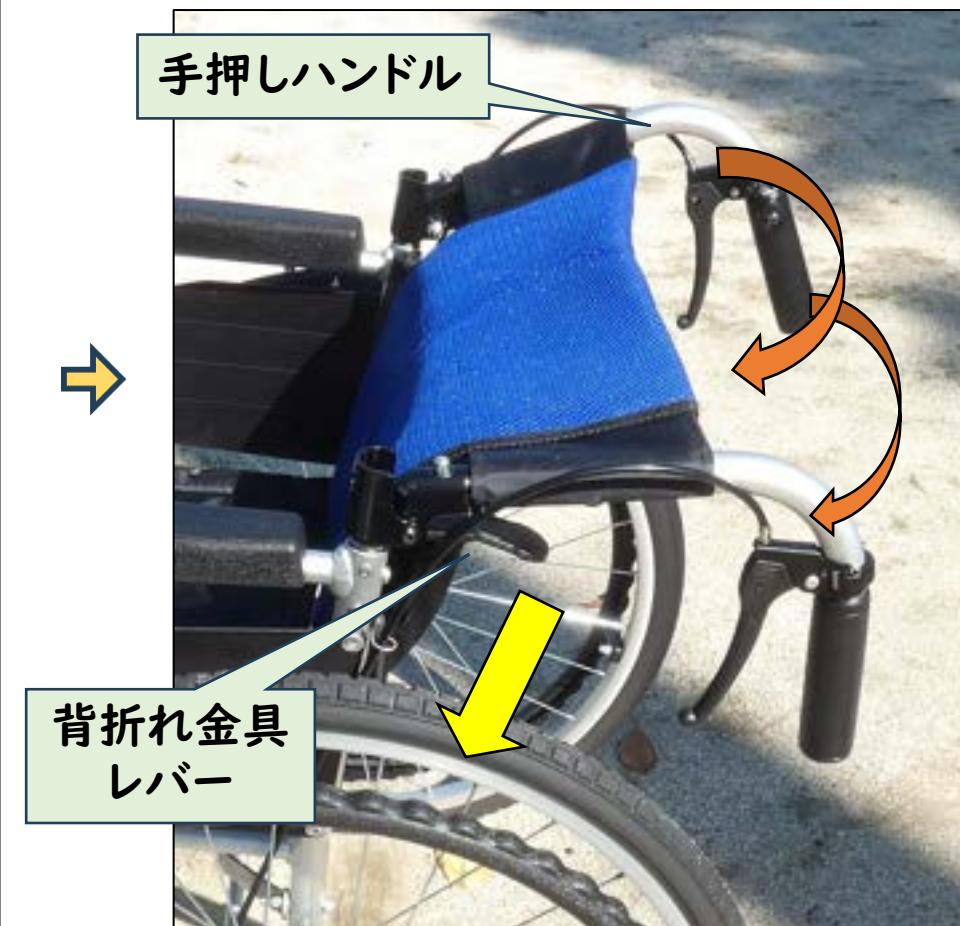
平坦な場所で駐車ブレーキをかける  
フットサポートが閉じている場合は  
手にて開く



シートの前方と後方の中央部を同時に  
持ち上げる  
車椅子が折りたたまれる  
アームレスト(ひじかけ)を引き寄せると  
完全に折りたたむ



背もたれの格納  
背折れ金具のレバーを後方へ引き  
手押しハンドル部分を手前に引い  
てシートを倒す



# バルとジャッキ

注意点 操作レバーの連結、油圧のリリースバルブの確認



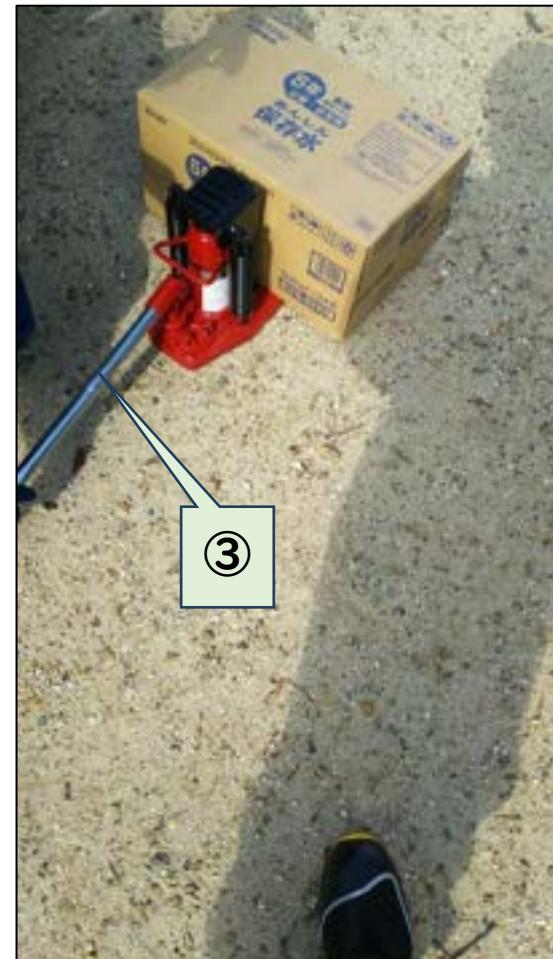
バー

ジャッキ

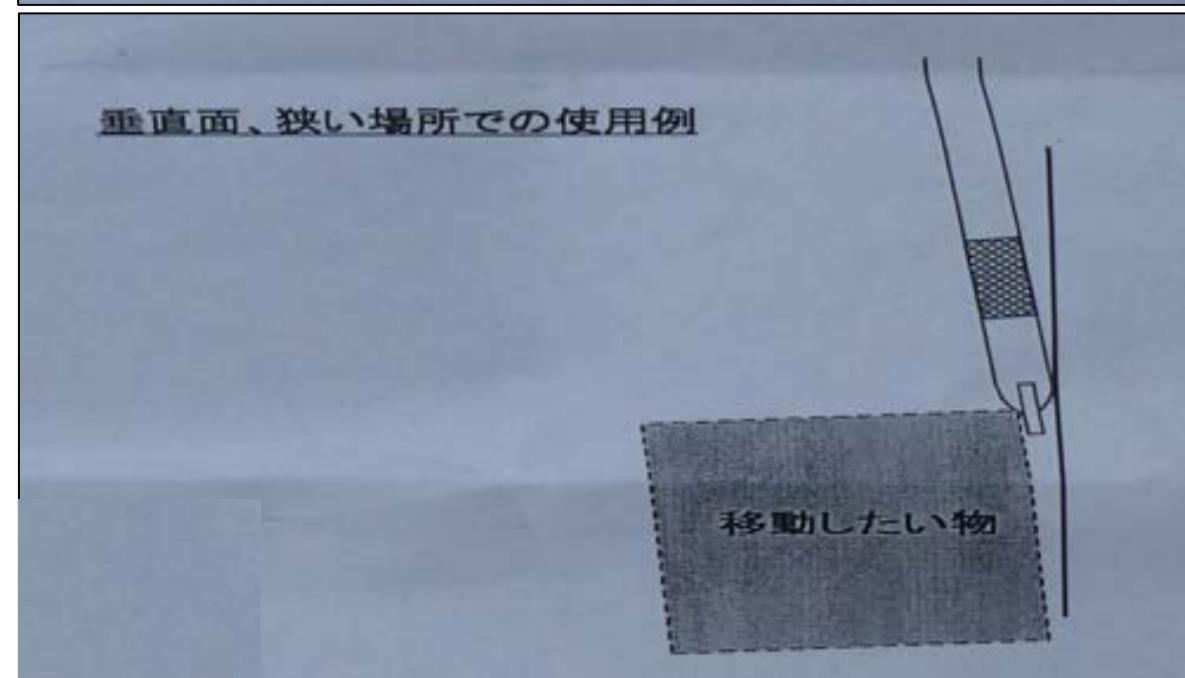
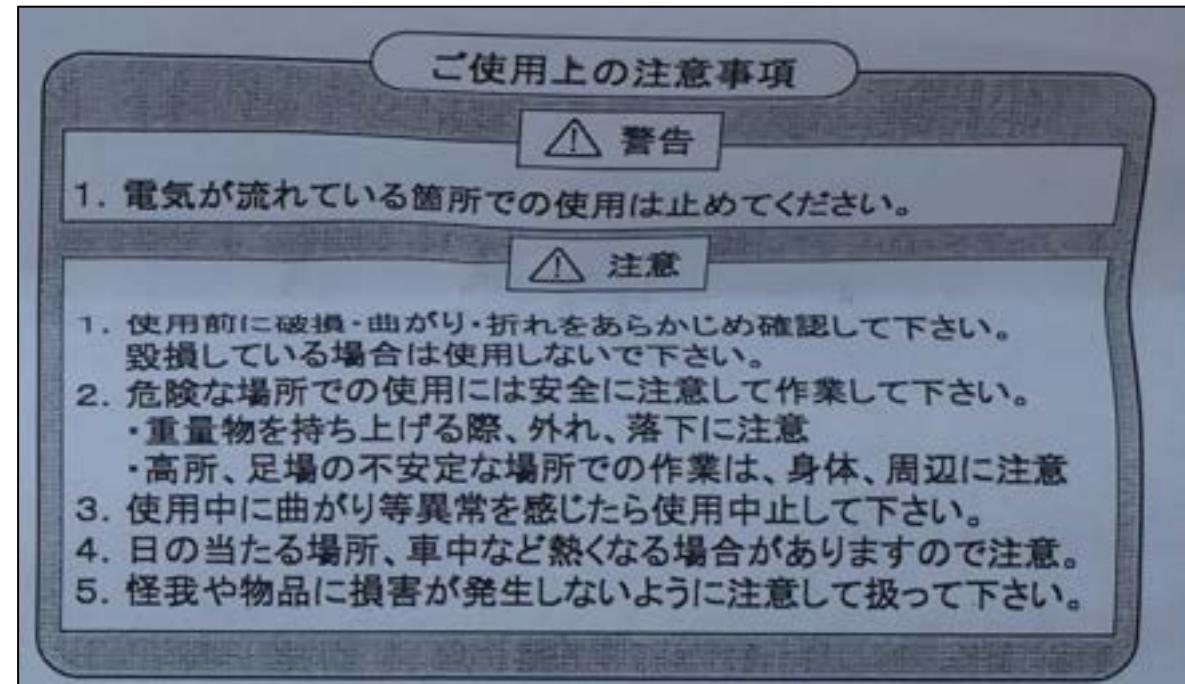
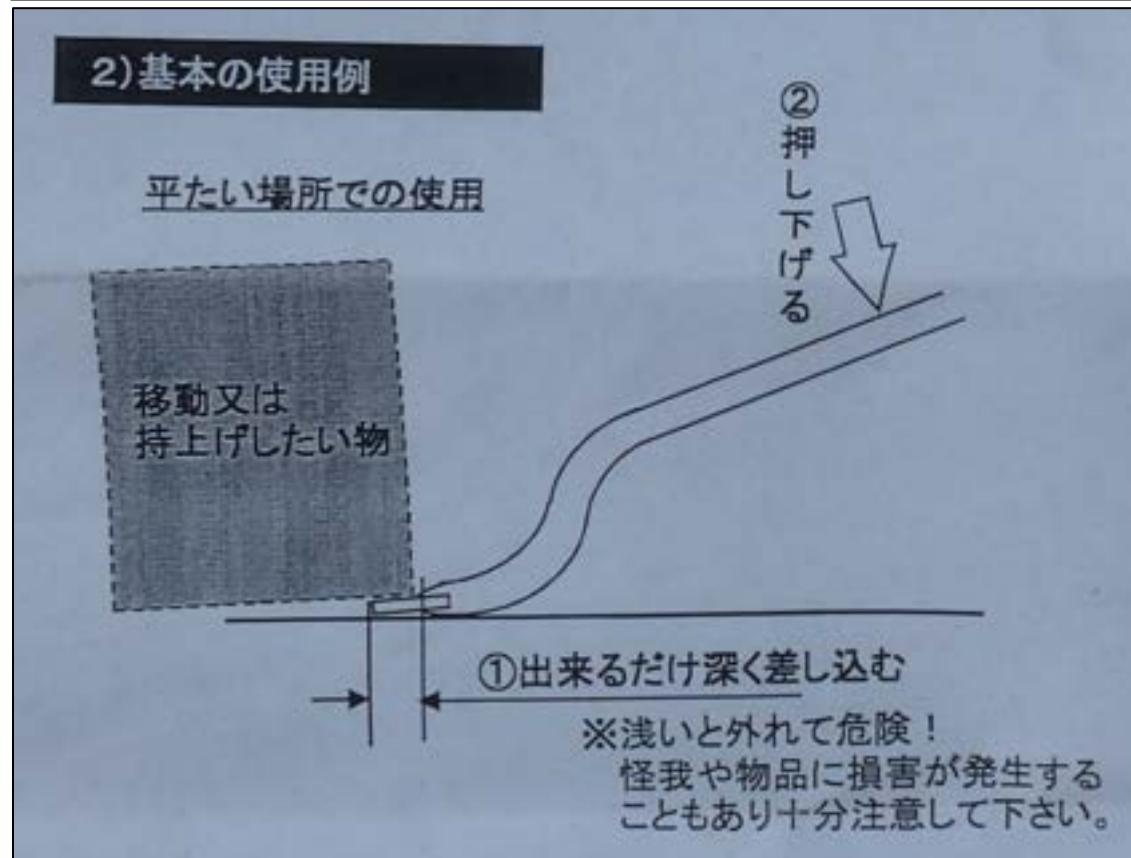
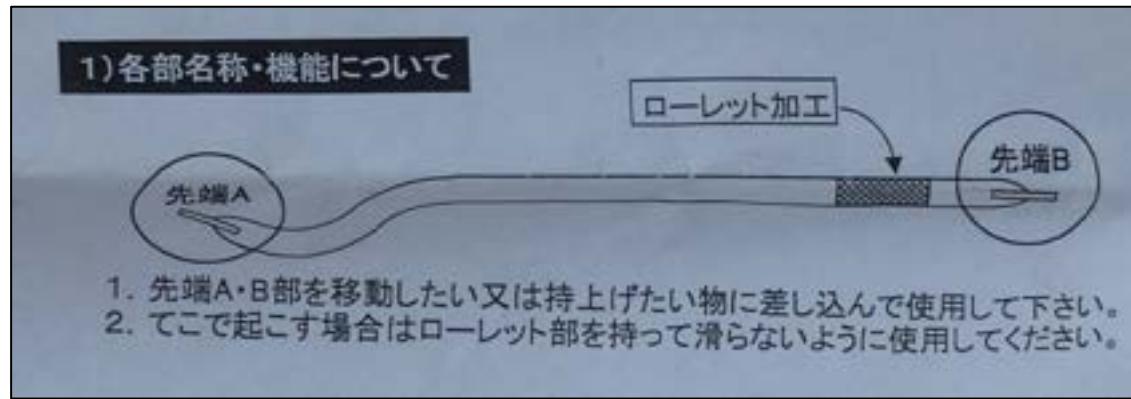


## ジャッキ使用前の準備

- ①3分割の操作レバーを組み立てる
- ②操作レバーで本体のリリースバルブを締める
- ③操作レバーを本体につなぐ



# バーの使用例



# バー、ジャッキを使用して倒壊建物の下敷きになっている人を助け出す

下敷きになっている人に声をかけて安心させる  
近くの瓦礫等を取り除く



下敷きになっている人の近くに  
バーを差し込む



バーで持ち上げたすき間に  
ジャッキを入れて持ち上げる

あて木



ジャッキで持ち上げたスペースに  
あて木を差し込み補強する

ケガ人を引きずり出し  
安全な場所まで運ぶ

# 簡易トイレ

注意点 テントが勢いよく開く、頑張って折りたたむ



# 簡易トイレ便座

排便袋をセットする



用を足す



便座に排便袋 未装着



便座に排便袋 装着



凝固剤をふりかける



排便袋

凝固剤 処分用袋



可燃ごみとして  
袋ごと処分



排便袋を取り出し袋の口を結ぶ

# 簡易トイレテント



## 【組み立て方法】

付近に人や壊れやすい物が無いかを十分に確認して下さい。

1. 収納バッグから本体を手で押さえながら取り出します。
2. 本体をすこしづつ広げていきます。この際、勢いよく開きますので  
顔などに当たらないようにご注意ください。
3. テントを横に寝かせ、下側に立ち引き上げます。
4. 下スカートの形をととのえてテントを立てます。  
(重りの設置やロープ・ペグで固定して下さい)
5. 元気です。



## 【収納の方法】

1. (準備)窓を閉じるテープを外します。
2. 正面から見て右のフチを対角線のフチへ押し込み  
L字型にします。(上から見た図参照)
3. 立てた状態で内側へたたみます。
4. たたんだ状態で正面に立ちます。
5. 下部のスカート部を足で押さえながら、  
テント上部を「く」の字に折り曲げていきます。
6. 下部のスカート部分をひざで押さえながら、地面に  
つけたテントの先を奥に押し込みながら、丸めていきます。
7. 反対側の輪を上から押えていき、  
収納バッグの大きさにします。
8. はみだしたスカート部分を中に入れ、  
形を整えて収納バッグに納めます。



**ポイント**  
テントの先を、奥に突っこんでいくと自然に入り込みふたつの輪が自然に折り重なっていきます。  
フチに引っかかるないように少し浮かすことを意識してください。

お手入れ 汚れたら柔らかい布等で拭いてください。

# 発電機

注意点 ガスボンベセット方法、始動手順確認、ガス漏れ注意



# ① 使用前準備(メンテナンス) 訓練時必要なし

- メンテナンスカバーを取り外し、エンジンオイルを確認する(発電機は横に傾けない)
- メンテナンスカバーを外すには10円玉又はドライバが必要



メンテナンスカバーを取り外しエンジンオイルを確認する



確認後、取り外したメンテナンスカバーを取り付ける

## ② 発電機を始動させ投光器を点灯させる



カセットボンベ(2本)の溝を下にして  
装填する



エンジンスイッチを運転位置に  
合わせ、始動グリップを引く



コードリールに発電機と投光器  
をつなぎ点灯させる

# テント

注意点 手を挟まない



# テントを開く

収納バックから本体を取り出す



設置したい場所の中央に置きゆっくり開きながら後ろに下がる



テントの中にもぐりこむ  
センターロック下部を矢印の方向へ  
持ち上げセンターロック上部へ  
差し込む  
カチッと音がしたらロック完了

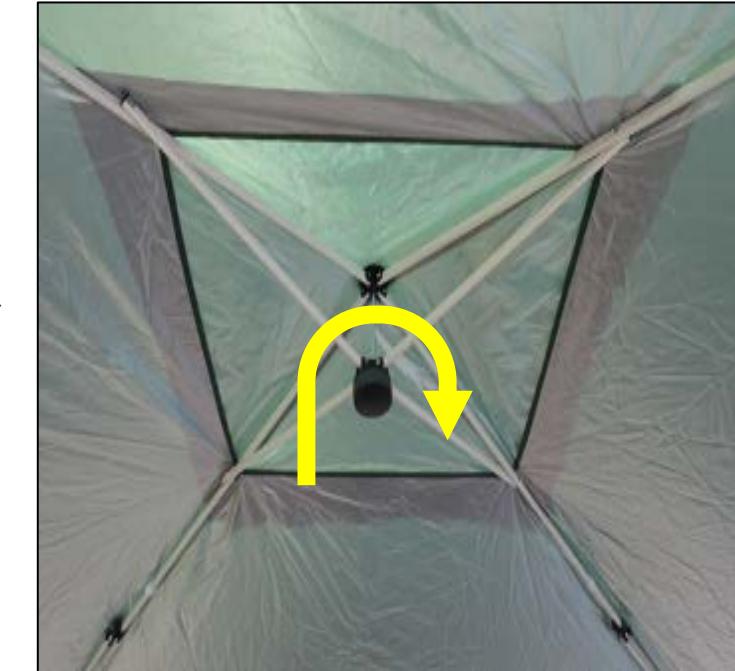


センターロック  
下部





テント完成！



4本の足の高さを決める  
フレーム脚を各々同じ高さに伸ばし  
スナップボタンをフレームの穴に  
はめ込んでロックする  
高さは2段階調整

脚を引き出す

たたむ場合は開き方の逆  
シートは取らない  
センターロックがロックした状態を外す場合は  
センターロック下部を右回転し  
センターロック上部を引き離す

## テントレイアウト(例)



折りたたみテーブル



折りたたみ椅子



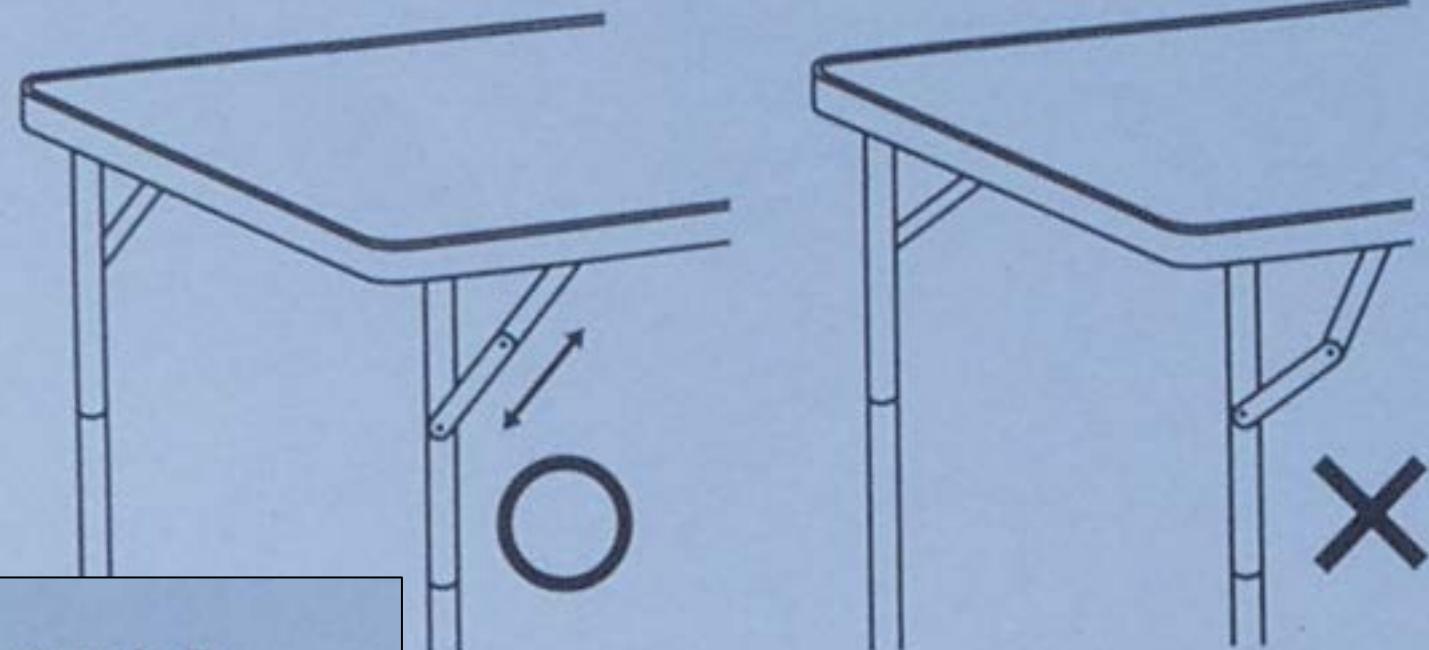
# 折りたたみテーブル説明書



## ■高さ調節方法

- 高さを調節する際は、脚部にあるボタンを押し込んで、脚部をのばします。ボタン部分がしっかりと穴からでている状態で固定してください。

- 取っ手部分のストッパーを外し、天板を開けます。
- 各脚をテーブルから引き起こしてください。
- テーブルと脚のサポートバーがまっすぐになり完全に固定されているのを確認してからご使用ください。



新町自主防災会メンバー  
絶賛募集中です

今後とも宜しくお願ひ致します



新町自主防災会  
2026年3月作成